

ファーストペンギン通信

第28号
発行日
令和4年11月21日（月）
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史



いま私が頑張っ
春・夏・秋に楽しめる独立したスポーツになりました。

1979年には第1回世界選手権大会も開かれ、1987年に長野県野辺山スキー場で第5回世界選手権大会が開催されました。

海外ではワールドカップ・世界選手権大会・世界ジュニア選手権大会・チルドレンキャンプが行われています。

2020年には日本で世界ジュニア選手権大会が開催される予定でしたが、コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

グラススキーの歴史

1960年にドイツ人のヨーゼフ・カイゼルによって発明され、キャタピラ・ベルト付きの用具を用い、草の斜面を滑走します。基本動作がスノースキーと同じため、当初はスノースキーのシーズンオフのトレーニング用でした。

その後、1970年代、アメリカに伝わると世界的規模のメジャースポーツとしての地位を獲得し、

グラススキーの種類

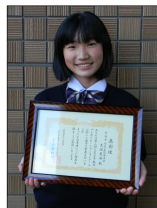
スラローム（SL）とジャイアントスラローム（GS）の2種類があります。用具も違います。

グラススキー

SL
（小さいターン用）



GS
（大きいターン用）



2022年度八王子プレコン 今がんばっている「グラススキー」について 本校1年生が発表

SLは細かいターンでリズム変化があり面白いです。ポールを倒すのが特徴です。GSは大きいターンでリズム変化がなく、スピードが速い。ポールをはじくのが特徴です。

私が始めた理由

スノースキーのシーズンオフ・トレーニングのためです。始めてみると、スノースキーでは味わえない魅力を感じました。

スノースキーでできる横滑りがグラススキーでは全くできないけれども、風を切って、緑色の明るい芝生の上を滑走するときの爽快感がたまりませんでした。

TEAM DLWH チームデーエルペーハー

また、2つめの理由は、八王子にこのチームがあったからです。その中には

○飛鳥井匠哉コーチ（1997～2010年まで世界的に活躍。現在はコーチをされています）、

2022年度全日本グラススキー選手権大会において

10月9日撮影動画より



スラローム(SL)に出場



ジャイアントスラローム(GS)に出場

○新谷起世コーチ（2013年世界選手権大会優勝）、

○前田知沙樹選手（2019年世界選手権大会4種目制覇・世界ジュニア選手権大会4種目制覇）、

○前田茉莉乃選手（2021年世界ジュニア選手権大会4種目制覇）、

○細田光希選手（2021年度世界ジュニア選手権大会SL銅メダル）

などの素晴らしい方々がいます。

そんな先輩方にまじって滑走し、先輩とのタイム差が少しでも縮まったときや難しいコースを滑り降りられたときには本当に楽しいと感じられます。ときは、コースアウトして悔しい思いをすることがありますが、「次、頑張るぞ!」と思うことも楽しみです。

今後の目標

今まではコロナウイルス感染拡大で行くことができなかった海外のチルドレンキャンプに行くことと、世界で活躍する先輩たちに1秒でも追いつくことです。

最後に

沢山のの人にこのグラススキーを知ってもらい、この八王子から日本のグラススキー界を盛り上げていきたいです。皆さん、応援してください。

審査の結果、久保さんは奨励賞をいただきました。健闘を称えます。